



公益財団法人SAJ

SAJ Farm 通信

vol.77
2016年 12月号

公益財団法人

School Aid Japan

〒144-0043

東京都大田区羽田 1-1-3

TEL: 03-5737-2773

FAX: 03-5737-2793

<http://www.schoolaidjapan.or.jp>

sajinfo@schoolaidjapan.or.jp

稲刈り開始!!

皆さんこんにちは。12月SAJFarmの空にツバメが飛び交う季節になりました。中国、もしかしたら日本から越冬に来たツバメたちが、稲刈りの終わった水田の上空を、餌を探して飛び回っています。日本で見られるツバメの姿をカンボジアで見ると、日本のことが無性に懐かしくなります。今月は飛び回るツバメたちの姿を見ながら稲刈りや講習会などの報告を行いたいと思います。



稲刈りを行うスタッフ達

◇稲刈り

稲刈りのシーズンが到来しました。今年のお米はカンボジア全体では豊作だったようですが、SAJFarmの周辺では雨の影響で稲刈り直前に水没してしまい、あまりお米の出来はよくなかったようです。SAJFarmは高台にあるため水没の難を逃れ、収穫をすることが出来ました。鎌で刈った稲を縛った後、水田の斜面に穂を下にして並べ、2、3日乾燥させます。藁に残っている栄養を粃に移すためです。前半は順調だったのですが、合間に雨が続いたため、収穫や乾燥が思ったように進まず、一部の粃から芽が生えてしまいました。来年は栽培時期や乾燥、保管方法を改善し、より状態の良いお米を作りたいと思います。



脱穀機に稲を入れる様子

◇脱穀

収穫、乾燥を終えた稲を回収し、開けた場所で水田ごとに脱穀を行いました。脱穀に使用する脱穀機は近隣の農家さんから借りています。借賃は脱穀した量で決まるため、専用のタライで粃を量ります。脱穀した粃は一度袋に入れてはかりで重量を量り、水田ごとの収穫量を出した後、まとめてシートの上で乾燥させます。今年は約1,600kgありました。乾燥時に雨が降るなど問題ありましたが、昨年の約1,200kgと比べると約33%増えました。去年はコーヒー粕だけで栽培しましたが、今年は堆肥を10a当たり500kg施肥したため、去年よりも収量が上がったようです。来年度も収量アップを目指して、頑張っていきたいと思います。



レモングラスの調製をする地元農家さん



鶏糞の施肥風景



アロマキャンドル販売

◇講習会

今月の講習会は先月に引き続きチャンダーさんの畑でレモングラスの収穫、施肥を行いました。参加者は稲刈りのシーズンのためチャンダーさんの奥さんを含め地元の農家さん3人と農場のスタッフ7人で行いました。最初にレモングラスを畑の家に近い場所から約6畝分収穫しました。収穫量を計量すると98.5kgありました。計量が終わった後全員で調製。再度計量すると75.9kgあったため、歩留まりは77%。SAJFarmの平均歩留まりである65%を超えていたため、よく出来ていると思います。収穫した場所が家に近く、良く管理されていたことが要因だと思います。その後、収穫の終わった場所に鶏糞を施肥しました。施肥量の目安として鶏糞は10a当り500kgです。チャンダー君の畑は約8aのため、畑全体で400kg必要になります。畝を数えるとほぼ同じ長さで40畝あったため、一畝10kg鶏糞を施肥しました。施肥が終わった後は地元農家さん、スタッフ達と簡単な食事をしました。農家さん達にレモングラスの契約栽培を勧めてみると、1人の農家さんが来年からならやってもいいよと返事をしてくれました。レモングラスの契約栽培が、講習会を通じて広がっていくことを実感した瞬間でした。これからも講習会を開き、地元の農家さんとの交流を深め、レモングラスの契約栽培を勧めていき、地元の農家さんたちの生活が潤うようになれば良いと思います。

◇アロマキャンドル販売開始

レモングラスのアロマキャンドルの販売を、プノンペンで開始しました。契約栽培のレモングラス精油を使い、ハンドメイドで作りました。まだ試験的な販売のため、一店の店舗と農場内でしか販売をしていませんが、徐々に他のプノンペンの精油販売店やお土産屋でも販売していく予定です。現在プノンペンの販売店では1個1.2\$のばら売りで販売しています。ゆくゆくは精油とレモングラスティー、アロマキャンドルをセットにして販売していくことも考えています。カンボジアにお越しの際は、SAJFarmの精油とともにアロマキャンドルも是非お買い求めください。